

水質汚濁に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料

ピメトロジン

I. 評価対象農薬の概要

1. 物質概要

化学名	(E)-4,5-ジヒドロ-6-メチル-4-(3-ピリジルメチレンアミノ)-1,2,4-トリアジン-3(2H)-オン				
分子式	C <sub>10</sub> H <sub>11</sub> N <sub>5</sub> O	分子量	217.2	CAS NO.	123312-89-0
構造式					

2. 作用機構等

ピメトロジンはピリジンアゾメチン骨格を有する殺虫剤である。作用機構は明らかではないが半翅目昆虫（アブラムシ類、コナジラミ類、ウンカ類、ヨコバイ類等）にのみ選択的な摂食抑止作用を示す。本邦での初回登録は1998年である。

製剤は粒剤及び水和剤が、適用作物は稲、果樹、野菜、いも及び花きがある。原体の輸入量は、4.0 t (21年度<sup>\*</sup>)であった。

<sup>\*</sup>年度は農薬年度（前年10月～当該年9月）、出典：農薬要覧・2010（社）日本植物防疫協会

3. 各種物性等

外観・臭気	白色固体粉末、無臭	土壌吸着係数	土壌に強く吸着するため 測定不能
密度	1.4 g/cm <sup>3</sup> (23℃)	オクタノール /水分配係数	logPow = -0.18 (25℃)
融点	217℃で分解のため 測定不能		
沸点	測定不能	生物濃縮性	—
蒸気圧	<4 × 10 <sup>-6</sup> Pa (25℃)	水溶解度	290 mg/L (25℃)

## II. 安全性評価

許容一日摂取量 (ADI)	0.013 mg/kg 体重/日
<p>食品安全委員会は、平成 22 年 9 月 9 日付で、ピメトロジンの ADI を 0.013 mg/kg 体重/日と設定する食品健康影響評価の結果を厚生労働省に通知した。</p> <p>なお、この値は、ラットを用いた 2 世代繁殖試験における無毒性量 1.30 mg/kg 体重/日を安全係数 100 で除して設定された。</p>	

## III. 水質汚濁予測濃度 (水濁 PEC)

水田使用及び非水田使用のいずれの場面においても使用されるため、それぞれの使用場面ごとに水濁 PEC が最も高くなる使用方法について表のパラメーターを用いて水濁 PEC を算出する。

### 1. 水田使用時の水濁 PEC

使用方法		各パラメーターの値	
剤 型	①25.0%水和剤 ②3.0%粒剤	$I$ : 単回の農薬使用量 (有効成分 g /ha)	①187.5 ②300
使用場面	水田	$N_{app}$ : 総使用回数 (回)	3
適用作物	①稲 ②箱育苗	$A_p$ : 農薬使用面積 (ha)	50
農薬使用量	①150 L/10a <sup>1)</sup> ②50 g/箱 <sup>2)</sup>		
総使用回数	①2 回 ②1 回		
地上防除/航空防除	地 上		
施 用 法	散 布		

<sup>1)</sup> 希釈液 (希釈倍数 2,000 倍) として。

<sup>2)</sup> 1 箱あたり本田 0.5a に相当。

## 2. 非水田使用時の水濁 PEC

使用方法		各パラメーターの値	
剤 型	25.0%水和剤	$I$ : 単回の農薬使用量 (有効成分 g/ha)	875
使用場面	非水田	$N_{app}$ : 総使用回数 (回)	2
適用作物	果樹	$A_p$ : 農薬使用面積 (ha)	37.5
農薬使用量	700 L/10a <sup>1)</sup>		
総使用回数	2 回		
地上防除/航空防除	地 上		
施 用 法	散 布		

<sup>1)</sup> 希釈液 (希釈倍数 2,000 倍) として。

## 3. 水濁 PEC 算出結果

使用場面	水濁 $PEC_{Tier1}$ (mg/L)
水田使用時	0.008986 …
非水田使用時	0.000032 …
うち地表流出寄与分	0.000029 …
うち河川ドリフト寄与分	0.000002 …
合 計 <sup>1)</sup>	0.009018 … ≐ <u>0.0090 (mg/L)</u>

<sup>1)</sup> 水濁 PEC の値は有効数字 2 桁とし、3 桁目を四捨五入して算出した。

## IV. 総合評価

### 1. 水質汚濁に係る登録保留基準値（案）

公共用水域の水中における予測濃度 に対する基準値	<b>0.034 mg/L</b>
以下の算出式により登録保留基準値を算出した。 <sup>1)</sup>	
0.013 (mg/kg 体重/日) ADI	× 53.3 (kg) 平均体重
× 0.1 10%配分	/ 2 (L/人/日) 飲料水摂取量
= 0.0346...(mg/L)	

<sup>1)</sup> 登録保留基準値は有効数字2桁（ADIの有効数字桁数）とし、3桁目を切り捨てて算出した。

<参考> 水質に関する基準値等

(旧)水質汚濁に係る農薬登録保留基準 <sup>1)</sup>	0.3 mg/L
水質要監視項目 <sup>2)</sup>	なし
水質管理目標設定項目 <sup>3)</sup>	なし
ゴルフ場暫定指導指針 <sup>4)</sup>	なし
WHO飲料水水質ガイドライン <sup>5)</sup>	なし

<sup>1)</sup> 平成17年8月3日改正前の「農薬取締法第3条第1項第4号から第7号までに掲げる場合に該当するかどうかの基準を定める等の件」（昭和46年3月2日農林省告示346号）第4号に基づき設定された基準値。

<sup>2)</sup> 水質汚濁に係る要監視項目として、直ちに環境基準とはせず、引き続き知見の集積に努めるべきとされた物質に係る指針値。

<sup>3)</sup> 水道法に基づく水質基準とするには至らないが、水道水質管理上留意すべき項目として設定された物質に係る目標値。

<sup>4)</sup> 「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針の一部改正について」（平成22年9月29日付け環水大土発第100929001号環境省水・大気環境局長通知）において設定された指針値。

<sup>5)</sup> Guidelines for Drinking-water Quality (First addendum to 3rd edition)

### 2. リスク評価

水濁  $PEC_{Tier1} = 0.0090$  (mg/L)であり、登録保留基準値 0.034 (mg/L)を超えないことを確認した。

(参考) 食品経由の農薬理論最大摂取量と対ADI比

農薬理論最大摂取量 (mg/人/日) <sup>1)</sup>	対ADI比 (%) <sup>2)</sup>
0.13	19

<sup>1)</sup> 食品経由の農薬理論最大摂取量は、平成23年6月29日開催の薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会における食品群毎の基準値案を基に算出した理論最大摂取量を示す。

<sup>2)</sup> 平均体重 53.3 kg で計算

ピリダリル

I. 評価対象農薬の概要

1. 物質概要

化学名	2, 6-ジクロロ-4-(3, 3-ジクロロアリルオキシ)フェニル=3-[5-(トリフルオロメチル)-2-ピリジルオキシ]プロピル=エーテル				
分子式	C <sub>18</sub> H <sub>14</sub> Cl <sub>4</sub> F <sub>3</sub> NO <sub>3</sub>	分子量	491.1	CAS NO.	179101-81-6
構造式					

2. 作用機構等

ピリダリルはフェノキシ-ピリジロキシ誘導体の構造を有する殺虫剤であり、昆虫に対して食毒及び接触毒として作用する。本邦での初回登録は2004年である。

製剤は水和剤、乳剤が、適用作物は野菜、いも、豆及び花きがある。原体の国内生産量は、26.2t (19年度\*)、58.2 t (20年度)、57.0 t (21年度)であった。

※年度は農薬年度(前年10月~当該年9月)、出典:農薬要覧・2010・(社)日本植物防疫協会

3. 各種物性等

外観・臭気	無色液体、無臭	土壌吸着係数	水溶性が低いため測定不能
密度	1.4 g/cm <sup>3</sup> (20℃)	オクタノール /水分配係数	logP <sub>ow</sub> = 8.1 (20℃)
融点	-17℃以下		
沸点	約 227℃で分解するため 測定不能	生物濃縮性	BCF <sub>ss</sub> = 15,000 (試験濃度: 0.15 μg/L) BCF <sub>ss</sub> = 19,000 (試験濃度: 0.05 μg/L)
蒸気圧	1.70 × 10 <sup>-7</sup> Pa (25℃、外挿)	水溶解度	1.5 × 10 <sup>-4</sup> mg/L (20℃)

## II. 安全性評価

許容一日摂取量 (ADI)	0.028 mg/kg 体重/日
<p>食品安全委員会は、平成 23 年 7 月 7 日付けで、ピリダリルの ADI を 0.028 mg/kg 体重/日と設定する食品健康影響評価の結果を厚生労働省に通知した。</p> <p>なお、この値は、ラットを用いた 2 世代繁殖試験における無毒性量 2.80 mg/kg 体重/日を安全係数 100 で除して設定された。</p>	

## III. 水質汚濁予測濃度 (水濁 PEC)

非水田農薬として、水濁 PEC が最も高くなる使用方法について表のパラメーターを用いて水濁 PEC を計算する。

### 1. 非水田使用時の水濁 PEC

使用方法		各パラメーターの値	
剤 型	10%水和剤	$I$ : 単回の農薬使用量 (有効成分 g /ha)	300
使用場面	非水田	$N_{app}$ : 総使用回数 (回)	4
適用作物	野菜	$A_p$ : 農薬使用面積 (ha)	37.5
農薬使用量	300 L/10a <sup>1)</sup>		
総使用回数	4 回		
地上防除/航空防除	地 上		
施 用 法	散 布		

<sup>1)</sup> 希釈液 (希釈倍数 1,000 倍) として。

## 2. 水濁 PEC 算出結果

使用場面	水濁 PEC <sub>Tier1</sub> (mg/L)
水田使用時	適用なし
非水田使用時	0.00001684 …
うち地表流出寄与分	0.00001677 …
うち河川ドリフト寄与分	0.00000007 …
合 計 <sup>1)</sup>	0.0000168 … ÷ <u>0.000017 (mg/L)</u>

<sup>1)</sup> 水濁 PEC の値は有効数字 2 桁とし、3 桁目を四捨五入して算出した。

## IV. 総 合 評 価

### 1. 水質汚濁に係る登録保留基準値 (案)

公共用水域の水中における予測濃度 に対する基準値	<b>0.074 mg/L</b>
以下の算出式により登録保留基準値を算出した。 <sup>1)</sup>	
$0.028 \text{ (mg/kg 体重/日)} \times 53.3 \text{ (kg)} \times 0.1 \text{ / } 2 \text{ (L/人/日)} = 0.0746\dots\text{(mg/L)}$	
ADI	平均体重 10%配分 飲料水摂取量

<sup>1)</sup> 登録保留基準値は有効数字 2 桁 (ADI の有効数字桁数) とし、3 桁目を切り捨てて算出した。

<参考> 水質に関する基準値等

(旧)水質汚濁に係る農薬登録保留基準 <sup>1)</sup>	なし
水質要監視項目 <sup>2)</sup>	なし
水質管理目標設定項目 <sup>3)</sup>	なし
ゴルフ場暫定指導指針 <sup>4)</sup>	なし
WHO 飲料水水質ガイドライン <sup>5)</sup>	なし

<sup>1)</sup> 平成 17 年 8 月 3 日改正前の「農薬取締法第 3 条第 1 項第 4 号から第 7 号までに掲げる場合に該当するかどうかの基準を定める等の件」(昭和 46 年 3 月 2 日農林省告示 346 号) 第 4 号に基づき設定された基準値。

<sup>2)</sup> 水質汚濁に係る要監視項目として、直ちに環境基準とはせず、引き続き知見の集積に努めるべきとされた物質に係る指針値。

<sup>3)</sup> 水道法に基づく水質基準とするには至らないが、水道水質管理上留意すべき項目として設定された物質に係る目標値。

<sup>4)</sup> 「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針の一部改正について」(平成 22 年 9 月 29 日付け環水大土発第 100929001 号環境省水・大気環境局長通知) において設定された指針値。

<sup>5)</sup> Guidelines for Drinking-water Quality (First addendum to 3rd edition)

## 2. リスク評価

水濁  $PEC_{Tier1} = 0.000017$  (mg/L)であり、登録保留基準値  $0.074$ (mg/L)を超えないことを確認した。

(参考) 食品経由の農薬理論最大摂取量と対 ADI 比

農薬理論最大摂取量 (mg/人/日) <sup>1)</sup>	対 ADI 比 (%) <sup>2)</sup>
0.50	33

<sup>1)</sup> 食品経由の農薬理論最大摂取量は、平成 23 年 3 月 8 日開催の薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会における食品群毎の基準値案を基に算出した理論最大摂取量を示す。

<sup>2)</sup> 平均体重 53.3 kg で計算



ピリベンカルブ

I. 評価対象農薬の概要

1. 物質概要

化学名	メチル = { 2-クロロ-5-[(E)-1-(6-メチル-2-ピリジルメトキシイミノ)エチル]ベンジル } カルバマート				
分子式	C <sub>18</sub> H <sub>20</sub> ClN <sub>3</sub> O <sub>3</sub>	分子量	361.8	CAS NO.	799247-52-2
構造式					

2. 作用機構等

ピリベンカルブは、ベンジルカーバマート構造を有する殺菌剤であり、ミトコンドリアの電子伝達系を阻害し、病原菌の孢子発芽や菌糸の伸長を抑制することによって殺菌活性を有する。本邦では未登録である。

製剤は水和剤が、適用作物は果樹、野菜、豆等として登録申請されている。

3. 各種物性等

外観・臭気	白色結晶、無臭	土壌吸着係数	$K_{F^{ads}OC} = 1,800 - 34,000$ (25°C)
密度	1.3 g/cm <sup>3</sup> (20°C)	オクタノール /水分配係数	logP <sub>ow</sub> = 2.64 (25°C, pH 4.0)
融点	95.0°C		logP <sub>ow</sub> = 3.77 (25°C, pH 6.9)
沸点	試験省略 (加熱すると気化する前に変性するため)	生物濃縮性	BCF <sub>ss</sub> = 20 (試験濃度 : 10.0 µg/L) BCF <sub>ss</sub> = 14 - 17 (試験濃度 : 1.0 µg/L)
蒸気圧	< 1.0 × 10 <sup>-5</sup> Pa (20°C)	水溶解度	6.76 mg/L (20°C、蒸留水) 63.0 mg/L (20°C、pH 4) 5.02 mg/L (20°C、pH10)

## II. 安全性評価

許容一日摂取量 (ADI)	0.039 mg/kg 体重/日
<p>食品安全委員会は、平成 23 年 5 月 12 日付けで、ピリベンカルブの ADI を 0.039 mg/kg 体重/日と設定する食品健康影響評価の結果を厚生労働省に通知した。</p> <p>なお、この値は、ラットを用いた1年間慢性毒性試験における無毒性量3.97mg/kg体重/日を安全係数100で除して設定された。</p>	

## III. 水質汚濁予測濃度 (水濁 PEC)

非水田農薬として、水濁 PEC が最も高くなる使用方法について表のパラメーターを用いて水濁 PEC を算出する。

### 1. 非水田使用時の水濁 PEC

使用方法		各パラメーターの値	
剤 型	40%水和剤	$I$ : 単回の農薬使用量 (有効成分 g /ha)	1400
使用場面	非水田	$N_{app}$ : 総使用回数 (回)	3
適用作物	果樹	$A_p$ : 農薬使用面積 (ha)	37.5
農薬使用量	700 L/10a <sup>1)</sup>		
総使用回数	3 回		
地上防除/航空防除	地 上		
施 用 法	散 布		

<sup>1)</sup> 希釈液 (希釈倍数 2,000 倍) として。

### 2. 水濁 PEC 算出結果

使用場面	水濁 PEC <sub>Tier1</sub> (mg/L)
水田使用時	適用無し
非水田使用時	0.00007142 …
うち地表流出寄与分	0.00006429 …
うち河川ドリフト寄与分	0.00000713 …
合 計 <sup>1)</sup>	0.00007142 … ÷ <u>0.000071 (mg/L)</u>

<sup>1)</sup> 水濁 PEC の値は有効数字 2 桁とし、3 桁目を四捨五入して算出した。

## IV. 総合評価

### 1. 水質汚濁に係る登録保留基準値（案）

公共用水域の水中における予測濃度 に対する基準値	<b>0.10 mg/L</b>
以下の算出式により登録保留基準値を算出した。 <sup>1)</sup>	
0.039 (mg/kg 体重/日) ADI	× 53.3 (kg) 平均体重
× 0.1 10%配分	/ 2 (L/人/日) 飲料水摂取量
= 0.103...(mg/L)	

<sup>1)</sup> 登録保留基準値は有効数字 2 桁（ADI の有効数字桁数）とし、3 桁目を切り捨てて算出した。

<参考> 水質に関する基準値等

(旧)水質汚濁に係る農薬登録保留基準 <sup>1)</sup>	なし
水質要監視項目 <sup>2)</sup>	なし
水質管理目標設定項目 <sup>3)</sup>	なし
ゴルフ場暫定指導指針 <sup>4)</sup>	なし
WHO 飲料水水質ガイドライン <sup>5)</sup>	なし

<sup>1)</sup> 平成 17 年 8 月 3 日改正前の「農薬取締法第 3 条第 1 項第 4 号から第 7 号までに掲げる場合に該当するかどうかの基準を定める等の件」（昭和 46 年 3 月 2 日農林省告示 346 号）第 4 号に基づき設定された基準値。

<sup>2)</sup> 水質汚濁に係る要監視項目として、直ちに環境基準とはせず、引き続き知見の集積に努めるべきとされた物質に係る指針値。

<sup>3)</sup> 水道法に基づく水質基準とするには至らないが、水道水質管理上留意すべき項目として設定された物質に係る目標値。

<sup>4)</sup> 「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針の一部改正について」（平成 22 年 9 月 29 日付け環水大土発第 100929001 号環境省水・大気環境局長通知）において設定された指針値。

<sup>5)</sup> Guidelines for Drinking-water Quality (First addendum to 3rd edition)

### 2. リスク評価

水濁  $PEC_{Tier1} = 0.000071$  (mg/L)であり、登録保留基準値 0.10(mg/L)を超えないことを確認した。

(参考) 食品経由の農薬理論最大摂取量と対 ADI 比

農薬理論最大摂取量 (mg/人/日) <sup>1)</sup>	対 ADI 比 (%) <sup>2)</sup>
<b>0.53</b>	<b>25</b>

<sup>1)</sup> 食品経由の農薬理論最大摂取量は、平成 23 年 9 月 14 日開催の薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会 農薬・動物用医薬品部会における食品群毎の基準値案を基に算出した理論最大摂取量を示す。

<sup>2)</sup> 平均体重 53.3 kg で計算